

ダンゴムシの研究

■プログラムの概要

ねらい	ダンゴムシの観察、性質をもとに身近な自然について考える。		
キーワード	身近な自然、いきもの		
対象	小学生全学年		
時間	60分	実施場所	校庭・室内
使用するもの	<ul style="list-style-type: none">・ 飼育ケース（捕まえたダンゴムシを入れるもの）・ 虫眼鏡		
全体の流れ	<ol style="list-style-type: none">1. 導入 観察手順などの説明2. ダンゴムシの採取（校庭・花壇など）3. ダンゴムシの観察 足の数・節の数・雌雄の区別など4. ダンゴムシを飼育してみよう 飼育方法、何を食べるのかクイズなど		

■進め方

時間	学習内容	指導上の留意点
5分	<p><導入></p> <ul style="list-style-type: none"> ダンゴムシを観察する手順（節や足の数、性別の見分け方）について、ワークシートを使って確認する。 	
15分	<p><採取></p> <ul style="list-style-type: none"> 校庭や花壇でダンゴムシを採取する。 	<ul style="list-style-type: none"> 花壇の中には入らない。草花を抜いたり、折ったりしない。 プランターや石の下を調べた場合、動かしたものは元に戻す。などのルールを確認する。
15分	<p><観察></p> <ul style="list-style-type: none"> ダンゴムシの節の数（なぜ丸くなれるのか） 雌雄の区別（模様や生殖器）について、虫眼鏡を使って観察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ダンゴムシが逃げ出さないように、何匹も容器から出さないようにする。
10分	<p><飼育></p> <p>ダンゴムシを飼育してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 飼育環境の説明 何を食べるか…クイズ形式 	<ul style="list-style-type: none"> ダンゴムシは雑食で、エビの殻やゴマ、チーズなども食べる。色々あげて好物を探してみるのもよい。 量が多いと食べきれずに腐って臭うので、まめに片付けること。

■使用するもの

物品名	数量	備考
飼育ケース	2個程度	飼育環境を作り、採取したダンゴムシを実際に飼育してみる。
虫眼鏡	グループ数×3	
プリンカップなど	人数分	

■実施にあたって留意する点

- ダンゴムシが逃げ出さないように、深めのプラスチック容器を準備する。
プリンカップなどはツルツルしているため、逃げられにくい。
- 虫眼鏡を使用するとき、低学年は光、特に太陽を直接見ないようにルール設定が必要。